

令和4年度

日本生化学会九州支部例会

プログラム

開催日時： 令和4年6月18日（土）

開催場所： オンライン(Zoom)開催

（本部：熊本大学大学院生命科学研究部薬学生化学分野）

例会長： 杉本 幸彦

〒862-0973 熊本市中央区大江本町5番1号

熊本大学大学院 生命科学研究部 薬学生化学分野

日本生化学会 九州支部

# ご案内

## 【支部例会の実施形式および参加者へのお願い】

1. 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、2022 年度例会は、Zoom による完全オンラインで実施致します。ご自身の端末を用い、メールでご連絡の Zoom リンクよりご参加下さい。参加者は Zoom 内でのご自身の表記を「姓 名 (所属)」のようにわかりやすくしてご参加ください。例：熊本 太郎 (熊本大)
2. 一般演題の発表は A-C の 3 会場で行います。3 演題同時進行となりますので、それぞれの会場のリンクからご参加下さい。会場を移動する場合は、一度ルームを退出し、目的の会場のリンクからご参加下さい。なお、シンポジウムおよび学術奨励賞受賞講演は A 会場にて行います。
3. A-C の各会場は午前 8 時 30 分に開場予定です。
4. 一般演題の演者と座長は、該当するセッションが開始される 15 分前までに入室いただきますよう、ご協力をお願い致します。フリーズを避けるため、発表ツール以外のアプリを閉じた状態で発表まで待機下さい。
5. 本大会の一般演題は、「発表 10 分+質疑応答 4 分の計 14 分」となっています。  
(演題間には 1 分間の切り替え時間を設けております。)
6. 質問は口頭形式で行います。質問者は Zoom 画面下の「手を挙げる」をクリックしてお待ちください。座長に名前を呼ばれた後、マイクとカメラを ON にして質問を開始してください。質問終了後にマイクとカメラを OFF にし「手を降ろす」をクリックしてください。活発なご討議をお願い致します。
7. Zoom を最新版にアップデートして下さい。大学の研究室など、Web 設備が整った環境でご参加ください。

詳しくは、メールで送付致します Zoom マニュアルの内容をご確認ください。

## 【禁止事項】

1. 発表内容の録画や撮影などによる記録・保存 (画面キャプチャを含む)
2. 第三者への発表内容 (要旨や URL を含む) の開示および動画などへの再配信 (SNS への投稿なども含む)
3. 実行委員会が不適切と判断する行為 (発表妨害など)

上記の禁止事項について理解・同意した上でご参加ください。違反が発見された場合は実行委員会より本大会への参加資格が剥奪される事があります。

## プログラム概要 6月18日(土)9:00~17:35

開始	A会場	B会場	C会場
9:00 一般演題・セッション1	座長：沖野 望 (九大)	座長：柴田俊生 (九大)	座長：榊原陽一 (宮崎大)
	A01 清水誠之 (大分大)	B01 錦織充広 (福岡大)	C01 山崎貴大 (九大)
	A02 城谷圭朗 (長崎大)	B02 三隅将吾 (熊大)	C02 矢吹 悌 (熊大)
	A03 八田大典 (長崎大)	B03 岸本直樹 (熊大)	C03 劉 曉輝 (崇城大)
	A04 加藤百合 (九大)	B04 松本俊介 (九大)	C04 巢山慶太郎 (九大)
10:00 一般演題・セッション2	座長：塩田倫史 (熊大)	座長：松島綾美 (九大)	座長：片山 勉 (九大)
	A05 古賀友紹 (熊大)	B05 亀井竣輔 (熊大)	C05 出向みほ (宮崎大)
	A06 柴田俊生 (九大)	B06 竹立新人 (福岡大)	C06 小山浩輔 (九大)
	A07 張 田力 (熊大)	B07 塩井(青木)成留実 (福岡大)	C07 塚本大貴 (崇城大)
	A08 吉崎綾乃 (九大)	B08 山下啓介 (九大)	C08 仲上奈都 (長崎大)
11:00 一般演題・セッション3	座長：西田基宏 (九大)	座長：倉岡 功 (福岡大)	座長：森岡弘志 (熊大)
	A09 山崎亮弥 (九大)	B09 甲斐公人 (長崎大)	C09 工藤瑞希 (長崎大)
	A10 牧野凧紗 (熊大)	B10 山口菜穂 (長崎大)	C10 小嶋芙季 (長崎大)
	A11 吉田莉奈 (熊大)	B11 細瀬摩利 (九大)	C11 三善賢弥 (九大)
	A12 金本海斗 (長崎大)	B12 山本樹奈 (宮崎大)	C12 鶴田 匠 (九大)
12:00 昼休み			
13:00 奨励賞受賞講演(A会場)	座長：杉本幸彦 (熊大)		
	AW1 岸本直樹 (熊大)		
	AW2 重富健太 (九大)		
	AW3 新地浩之 (鹿児島大)		
14:00 休憩			
14:10 シンポジウム(A会場)	座長：杉本幸彦 (熊大)		
	S1 石谷 太 (阪大)		
	座長：澤 智裕 (熊大)		
	S2 大久保範聡 (東大)		
	座長：武田弘資 (長崎大)		
	S3 吉原良浩 (理研)		
15:40 休憩			
15:50 一般演題・セッション4	座長：古賀友紹 (熊大)	座長：三隅将吾 (熊大)	座長：畠山智充 (長崎大)
	A13 山縣里美 (九大)	B13 石原一輝 (九大)	C13 和泉健太 (九大)
	A14 松崎桃子 (九大)	B14 光岡和真 (福岡大)	C14 山田裕大 (九大)
	A15 Lai Shaohong (大分大)	B15 松本朱音 (福岡大)	C15 隈元詩織 (崇城大)
	A16 Wulan Apridita Sebastian (大分大)	B16 西夏菜子 (鹿児島大)	C16 佐藤 想 (九大)
16:50 一般演題・セッション5	座長：岩田修永 (長崎大)	座長：南 敬 (熊大)	座長：角田佳充 (九大)
	A17 豊元柊弥 (熊大)	B17 三浦知志 (熊大)	C17 小川瑞葵 (熊大)
	A18 川久保厚佑 (熊大)	B18 徳永 誠 (九工大)	C18 田中尚輝 (九大)
	A19 藤井悠貴 (九大)		

下線付き番号:優秀発表賞エントリー演題

# 令和4年度日本生化学会九州支部例会

## 講演プログラム

# 令和4年度日本生化学会九州支部学術奨励賞

## 受賞講演

6月18日(土) 13:00~14:00

A会場

座長：杉本 幸彦（熊本大学大学院生命科学研究部）

### 13:00 AW1

HIV複製における moonlighting タンパク質としての解糖系酵素に関する研究  
岸本 直樹（熊本大学大学院生命科学研究部）

### 13:20 AW2

タイトジャンクション形成における脂質の機能解明  
重富 健太（九州大学大学院理学研究院生物科学部門）

### 13:40 AW3

糖鎖固定化ナノ粒子を用いた糖鎖結合性分子の解析およびドラッグデリバリーに関する研究  
新地 浩之（鹿児島大学大学院理工学研究科）

# シンポジウム

「小型魚類を駆使した生化学研究の最前線」

6月18日（土） 14：10～15：40

A会場

世話人：

杉本 幸彦（熊本大学大学院生命科学研究部）

座長：杉本 幸彦（熊本大学大学院生命科学研究部）

**14:10 S1**

**魚で切り拓くヒト疾患・老化研究**

石谷 太（大阪大学微生物病研究所）

座長：澤 智裕（熊本大学大学院生命科学研究部）

**14:40 S2**

**性ステロイドに依存して決まるメダカの配偶行動パターンと性指向**

大久保 範聡（東京大学大学院農学生命科学研究科）

座長：武田 弘資（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）

**15:10 S3**

**魚の嗅覚行動を司る分子・細胞・回路メカニズム -脂質フェロモンを中心に-**

吉原 良浩（理化学研究所）

# 一般講演プログラム A 会場

A 会場セッション1 (9:00~10:00)

座長：沖野 望 (九大院農)

- 9:00 A01 X連鎖性ミオチューブラーミオパチーに伴う肝紫斑病の病態機構  
○清水誠之<sup>1</sup>、白石裕士<sup>1</sup>、井上真紀<sup>2</sup>、井原健二<sup>2</sup>、花田俊勝<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>大分大・医学・細胞、<sup>2</sup>大分大・医学・小児)
- 9:15 A02 アルツハイマー病危険因子 TREM2 の糖鎖の役割  
○城谷圭朗、脇田直樹、岩田修永  
(長崎大院・医歯薬)
- 9:30 A03 ジスキネジア関連分子 Prrt2 によるドーパミン神経伝達の調節を介した運動制御  
○八田大典<sup>1</sup>、光成晃輝<sup>1</sup>、金本海斗<sup>1</sup>、眞喜屋志穂<sup>1</sup>、淵上由貴<sup>1</sup>、川上 茂<sup>1</sup>、木下 晃<sup>2</sup>、吉浦孝一郎<sup>2</sup>、黒滝直弘<sup>2</sup>、城谷圭朗<sup>1</sup>、岩田修永<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>長崎大院・医歯薬、<sup>2</sup>長崎大・原研)
- 9:45 A04 骨格筋の病的萎縮における TRPC3-Nox2 タンパク質複合体形成の関与  
○加藤百合<sup>1</sup>、鮎川皓一<sup>1</sup>、西山和宏<sup>1</sup>、Mi Xinya<sup>1</sup>、西村明幸<sup>2</sup>、西田基宏<sup>1,2,3</sup>  
(<sup>1</sup>九州大・院薬・生理、<sup>2</sup>生理研・心循環、<sup>3</sup>総研大・生理)

A会場セッション2 (10:00～11:00)

座長：塩田 倫史 (熊大発生研)

- 10:00 A05 **M2型マクロファージ極性化に関するエピゲノム制御機構**  
○古賀友紹<sup>1</sup>、船蔵直史<sup>1</sup>、洪性賢<sup>1</sup>、中尾光善<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>熊本大・発生研・細胞医学)
- 10:15 A06 **ショウジョウバエのフィブリノーゲン様レクチンの機能解析**  
○柴田俊生<sup>1,2</sup>、小城真菜<sup>2</sup>、鳴海佳輔<sup>2</sup>、川畑俊一郎<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>九大院・理・生物、<sup>2</sup>九大院・システム生命科学)
- 10:30 A07 **NLRP3インフラマソームは超硫黄分子によるタンパク質ポリスルフィド化によって制御される**  
○張 田力<sup>1</sup>、津々木 博康<sup>1</sup>、豊元 柊弥<sup>1</sup>、西村 明幸<sup>2</sup>、西田 基宏<sup>3</sup>、  
赤池 孝章<sup>4</sup>、澤 智裕<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>熊大・院・生命科学・微生物、<sup>2</sup>生理研・心循環シグナル、<sup>3</sup>九大・院・  
薬・生理学、<sup>4</sup>東北大・院・医・環境医学)
- 10:45 A08 **ラビリントチュラ類におけるスフィンゴ脂質修飾酵素の同定と機能解析**  
○吉崎綾乃<sup>1</sup>、石橋洋平<sup>2</sup>、笠利水斗<sup>1</sup>、沖野 望<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>九大・院生資環・生命機能、<sup>2</sup>九大・院農・生命機能)



A会場セッション3 (11:00~12:00)

座長：西田 基宏 (九大院薬)

- 11:00 A09 **ラビリンチュラ類における非典型的 PUFA 産生機構の解明**  
○山崎 亮弥<sup>1</sup>、石橋 洋平<sup>2</sup>、合田 初美<sup>2</sup>、伊東 信<sup>2</sup>、沖野 望<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>九大・院生資環, <sup>2</sup>九大・院農)
- 11:15 A10  **$\omega$ 3 脂肪酸偏重食がマウス分娩誘導に与える影響の解析**  
○牧野 凧紗、橋本美穂、稲住知明、杉本聡子、土屋創建、杉本幸彦  
(熊大院薬・薬学生化学)
- 11:30 A11  **$\omega$ 6/ $\omega$ 3 脂肪酸バランスの破綻が母性行動に与える影響とその分子機構**  
○吉田莉奈、橋本美穂、牧野 凧紗、稲住知明、杉本聡子、土屋創建、  
杉本幸彦  
(熊大院薬・薬学生化学)
- 11:45 A12 **ジスキネジア関連分子 Prrt2 による細胞外神経伝達物質の濃度調節**  
○金本海斗<sup>1</sup>、光成晃輝<sup>1</sup>、眞喜屋志穂<sup>1</sup>、八田大典<sup>1</sup>、湊上由貴<sup>1</sup>、  
川上 茂<sup>1</sup>、木下 晃<sup>2</sup>、吉浦孝一郎<sup>2</sup>、黒滝直弘<sup>2</sup>、城谷圭朗<sup>1</sup>、岩田修永<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>長崎大院・医歯薬、<sup>2</sup>長崎大・原研)

A会場セッション4 (15:50~16:50)

座長：古賀 友紹 (熊大発生研)

- 15:50 A13 スフィンゴ脂質代謝破綻に対して抵抗性を付与する遺伝子変異の探索  
○山縣 里美、松崎 桃子、川口 貴大、谷 元洋  
(九大院・理・化学)
- 16:05 A14 複合スフィンゴ脂質構造多様性破綻酵母にストレス耐性能を付与する遺伝子変異の探索  
○松崎 桃子、川口 貴大、山縣 里美、谷 元洋  
(九大院・理・化学)
- 16:20 A15 Analysis of smg9-deficient Zebrafish  
○LAI Shaohong<sup>1</sup>, Hiroshi SHIRAISHI<sup>1</sup>, Nobuyuki SHIMIZU<sup>1</sup>, Wulan SEBASTIAN<sup>1</sup>, Reiko HANADA<sup>2</sup>, Toshikatsu HANADA<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>Department of Cell Biology, Faculty of Medicine., Oita University  
<sup>2</sup>Department of Neurophysiology, Faculty of Medicine., OITA University)
- 16:35 A16 *ank/e2* deficiency in zebrafish causes impaired brain development  
○Wulan Apridita Sebastian<sup>1</sup>, Hiroshi Shiraishi<sup>1</sup>, Nobuyuki Shimizu<sup>1</sup>, Reiko Hanada<sup>2</sup>, Toshikatsu Hanada<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>Department of Cell Biology, Oita University, <sup>2</sup>Department of Neurophysiology, Oita University)

A会場セッション5 (16:50~17:35)

座長：岩田 修永 (長崎大院医歯薬)

- 16:50 A17 **細菌のシステイン合成酵素を標的とした新規抗菌アジュバントの探索**  
○豊元 柊弥<sup>1</sup>、小野 勝彦<sup>1</sup>、津々木 博康<sup>1</sup>、張 田力<sup>1</sup>、赤池 孝章<sup>2</sup>、  
澤 智裕<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>熊大・院生命科学・微生物, <sup>2</sup>東北大・院医・環境医学)
- 17:05 A18 **ポリアラニン伸長変異ウエスト症候群におけるグアニン四重鎖構造の関与**  
○川久保厚佑<sup>1</sup>、朝光世煌<sup>2</sup>、松尾和哉<sup>1</sup>、矢吹悌<sup>1</sup>、塩田倫史<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>熊本大・発生研・ゲノム神経、<sup>2</sup>理研・生命機能科学研・脳エピトランスクリプトミクス)
- 17:20 A19 **Bleb の拡大・退縮の制御に関する分子機構の解明**  
○藤井悠貴<sup>1</sup>、池ノ内順一<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>九大・院システム生命、<sup>2</sup>九大・院理)

## 一般講演プログラム B 会場

B 会場セッション 1 (9:00~10:00)

座長：柴田 俊生 (九大院理)

- 9:00 B01 病原性寄生虫・トキソプラズマの分泌タンパク質と宿主ミトコンドリアの相互作用解析  
○錦織充広<sup>1</sup>、牧 優香<sup>1</sup>、西 翔平<sup>1</sup>、西川義文<sup>2</sup>、小柴琢己<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>福岡大・理・化学、<sup>2</sup>帯畜大・原虫研)
- 9:15 B02 HIV 潜伏感染細胞を排除するための Protein kinase C アイソザイム選択的活性化剤の開発  
岸本直樹<sup>1</sup>、Ahmed H. H. El-Desoky<sup>2</sup>、江口啓介<sup>2</sup>、浅野聡文<sup>3</sup>、加藤光<sup>2</sup>、人羅勇氣<sup>2</sup>、小谷俊介<sup>4</sup>、中村照也<sup>5</sup>、土屋創健<sup>6</sup>、塚本佐知子<sup>2</sup>、  
○三隅将吾<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>熊本大・薬・環境分子保健学、<sup>2</sup>熊本大・薬・天然薬物学、<sup>3</sup>熊本大・薬・分子薬化学、<sup>4</sup>熊本大・薬・機器分析学、<sup>5</sup>熊本大・薬・機能分子構造解析学、<sup>6</sup>熊本大・薬・薬学生化学)
- 9:30 B03 粘膜免疫惹起に関わる M 細胞上新規分子の探索  
○岸本直樹<sup>1</sup>、井上貴文<sup>1</sup>、高崎稔大<sup>1</sup>、高宗暢暁<sup>2</sup>、三隅将吾<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>熊本大・薬・環境分子保健学、<sup>2</sup>熊本大 KIDO)
- 9:45 B04 テイルアンカー型タンパク質の局在化における配送校正機構の解析  
○松本俊介<sup>1, 3</sup>、遠藤斗志也<sup>2, 3</sup>  
(<sup>1</sup>九大・院農・生化、<sup>2</sup>京産大・生命、<sup>3</sup>京産大・タンパク質動態研)

B会場セッション2 (10:00~11:00)

座長：松島 綾美 (九大院理)

- 10:00 B05 気道上皮に発現する PIRIN は、インフルエンザウイルス感染時の免疫応答を負に制御する  
○亀井竣輔<sup>1, 2</sup>、Maria Jose Andrade Vallejo<sup>2</sup>、小松賢生<sup>2</sup>、田崎幸裕<sup>2</sup>、亀井千鶴<sup>2, 3</sup>、Ye Wang<sup>2</sup>、Baozhong Wang<sup>2</sup>、Chengliu Jin<sup>2</sup>、Suttapitugsakul Suttipong<sup>4</sup>、Wu Ronghu<sup>4</sup>、Mary Ann Suico<sup>3</sup>、首藤剛<sup>3</sup>、甲斐広文<sup>3</sup>、南敬<sup>1</sup>、Jian-Dong Li<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>熊大・生命資源・分子血管、<sup>2</sup>ジョージア州立大・生物医科研、<sup>3</sup>熊大・薬・遺伝子、<sup>4</sup>ジョージア工科大)
- 10:15 B06 Single cell-based evaluation of mismatch repair efficiency with a novel fluorescent marker  
○竹立 新人、松石英莉那、水崎彰治、長澤知樹、倉岡功  
(福岡大学 理学部化学科 機能生物化学)
- 10:30 B07 ハブ血清タンパク質 Small serum proteins-4 の標的毒素の同定  
大瀬良碧、倉岡功、○塩井(青木)成留実  
(福岡大学大学院・理学研究科)
- 10:45 B08 カプトガニ体液凝固カスケードへの二価金属イオンの影響  
○山下啓介<sup>1</sup>、塚崎元康<sup>1</sup>、松浦怜史<sup>2</sup>、柴田俊生<sup>3</sup>、川畑俊一郎<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>九州大・院システム生命科学、<sup>2</sup>九州大・理、<sup>3</sup>九州大・院理)

B会場セッション3 (11:00~12:00)

座長：倉岡 功 (福岡大院理)

- 11:00 B09 海洋微生物抽出物ライブラリーを用いたプロテインホスファターゼPGAM5  
阻害剤の探索  
○甲斐公人<sup>1</sup>、竹生田淳<sup>1</sup>、中村萌香<sup>1</sup>、是枝杏佳<sup>1</sup>、杉山拓朗<sup>1</sup>、  
陣内昌太<sup>1</sup>、黒岩めぐみ<sup>1</sup>、村崎茜<sup>1</sup>、谷村進<sup>1</sup>、田中義正<sup>2</sup>、武田弘資<sup>1</sup>  
(長崎大学・<sup>1</sup>院医歯薬・細胞制御、<sup>2</sup>先端創薬イノベーションセンター)
- 11:15 B10 新たなナノボディの開発を目的とした底生ザメ重鎖抗体検出系の確立  
○山口菜穂<sup>1</sup>、黒岩龍一<sup>1</sup>、武田弘資<sup>1</sup>、田中義正<sup>2</sup>、谷村進<sup>1</sup>  
(長崎大・<sup>1</sup>院医歯薬・細胞制御、<sup>2</sup>先端創薬イノベーションセンター)
- 11:30 B11 内分泌攪乱物質を曝露した胎仔マウス脳における神経系遺伝子の発現変  
動  
○細瀬摩利、白根共太、石橋知佳、伊藤琴音、田川幸樹、松島綾美  
(九州大・院理・化学)
- 11:45 B12  $\beta$ -cryptoxanthin 及びその代謝産物によるNK細胞活性化経路の解析  
○山本樹奈<sup>1</sup>、寺尾莉奈<sup>1</sup>、山田夕葉<sup>1</sup>、近藤知己<sup>2</sup>、吉山佳世<sup>2</sup>、  
福井敬一<sup>2</sup>、服部秀美<sup>1</sup>、江藤望<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>宮崎大・院農、<sup>2</sup>JA 宮崎経済連)

B会場セッション4 (15:50~16:50)

座長：三隅 将吾 (熊大院薬)

15:50 B13 *Vibrio parahaemolyticus* が持つ CAST による DNA 転移の分子機構の解析

○石原一輝<sup>1</sup>、石野園子<sup>2</sup>、石野良純<sup>2</sup>、沼田倫征<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>九州大・院生資・生化、<sup>2</sup>九州大・院農・生化)

16:05 B14 ヒトエンドヌクレアーゼ V の切断特性について

○光岡和真、吉田綾、松本朱音、倉岡 功

(福岡大学・理・化学)

16:20 B15 DNA 修復因子 ERCC1-XPF と複製因子 RFC の結合について

○松本朱音、吉田綾、光岡和真、竹立新人、倉岡功

(福岡大学・理・化学)

16:35 B16 イネ共生菌由来リポ多糖の構造解析

○西夏菜子<sup>1</sup>、橋本雅仁<sup>1</sup>、稲川裕之<sup>2,3</sup>

(<sup>1</sup>鹿児島大学・院理工、<sup>2</sup>自然免疫制御技術研究組合、<sup>3</sup>自然免疫応用技  
研(株))

B会場セッション5 (16:50~17:20)

座長：南 敬 (熊大院生命)

16:50 B17 安定な HIV-1 カプシドコア形成に関わる因子の探索

○三浦知志<sup>1</sup>、岸本直樹<sup>1</sup>、平野圭恵<sup>1</sup>、入江彩花<sup>1</sup>、高宗暢暁<sup>2</sup>、  
三隅将吾<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>熊本大・薬・環境分子保健学、<sup>2</sup>熊大 KIDO)

17:05 B18 ヘムオキシゲナーゼ1のヘム捕捉における膜局在の影響とヘムシャペロ  
ンの関与

○徳永 誠、藤田美海、黒田 翔、平 順一、坂本 寛

(九工大院・情報工・生命)



## 一般講演プログラム C 会場

C会場セッション1 (9:00~10:00)

座長：榊原 陽一 (宮崎大院農)

- 9:00 C01 **アクチノバシラス属由来グルコース転移酵素の生化学解析**  
○山崎貴大<sup>1</sup>、神田大輔<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>九州大学 生体防御医学研究所 構造生物学分野)
- 9:15 C02 **RNA 相転移による  $\alpha$ -シヌクレイン凝集促進機構の検討**  
○矢吹 悌<sup>1,2</sup>、松尾 和哉<sup>1</sup>、前田 康平<sup>1,2</sup>、溝端 知宏<sup>3</sup>、川久保 厚佑<sup>1,2</sup>、  
塩田 倫史<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>熊大・発生研・ゲノム神経、<sup>2</sup>熊大・薬学部、<sup>3</sup>鳥取大・院工)
- 9:30 C03 **炭化水素基をもつビスフェノールのアゴニスト/アンタゴニストの異機能性の原因は ER $\beta$ で働くロンドン分散力に起因する不活性化である**  
○劉 曉輝<sup>1,2</sup>、松山祐昂<sup>1</sup>、下東美樹<sup>3,4</sup>、下東康幸<sup>1,4</sup>  
(<sup>1</sup>九州大院・理・化学、<sup>2</sup>崇城大・生物生命、<sup>3</sup>福岡大・理・生物、<sup>4</sup>リスクサイエンス研)
- 9:45 C04 **温度応答性ペプチド・(FPGVG)<sub>5</sub>の配列短縮による自己集合能の増強**  
○巢山慶太郎<sup>1</sup>、住吉勝伍<sup>2</sup>、田中尚輝<sup>2</sup>、安藤拓海<sup>2</sup>、長田晃彦<sup>2</sup>、  
友原啓介<sup>2</sup>、谷口 卓<sup>3</sup>、前田衣織<sup>3</sup>、野瀬 健<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>九州大・基幹教育院、<sup>2</sup>九州大・院理・化学、<sup>3</sup>九工大・情報工学研究院)

C会場セッション2 (10:00~11:00)

座長：片山 勉 (九大院薬)

- 10:00 C05 **新型コロナウイルス受容体アンジオテンシン変換酵素2のチロシン硫酸化**  
○出向みほ<sup>1</sup>、黒木勝久<sup>1</sup>、Ming-Cheh Liu<sup>2</sup>、水光正仁<sup>1</sup>、榊原陽一<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>宮崎大・院農・応生、<sup>2</sup>トレド大・薬)
- 10:15 C06 **ヒトIgG1 CH<sub>2</sub>ドメインの安定化による凝集と免疫原性の抑制**  
○小山浩輔<sup>1</sup>、越智甚太<sup>1</sup>、大栗誉敏<sup>2</sup>、Jose M. M. Caaveiro<sup>3</sup>、植田 正<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>九州大院薬・蛋白創薬、<sup>2</sup>崇城大・<sup>3</sup>薬、九州大院薬・Global Healthcare)
- 10:30 C07 **anamox のヘム結合エンカプスリンの性質**  
○塚本大貴<sup>1</sup>、平大輔<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>崇城大・院工・応生命、<sup>2</sup>崇城大・生物生命)
- 10:45 C08 **オニオコゼ刺毒に含まれるホスホリパーゼ A<sub>2</sub> の機能解析**  
○仲上奈都、海野英昭、畠山智充  
(長崎大院・工)

C会場セッション3 (11:00~12:00)

座長：森岡 弘志 (熊大院薬)

- 11:00 C09 マンノース特異的レクチン GGL1 のマンノースオリゴ糖鎖認識機構  
○工藤瑞希, 秋吉雅弘, 増田一喜, 海野英昭, 畠山智充  
(長崎大院・工)
- 11:15 C10 ショウジョウバエ DM9 ドメインタンパク質の組換え体発現と糖結合活性  
○小嶋芙季, 大川内一誠, 海野英昭, 畠山智充  
(長崎大院・工)
- 11:30 C11 大腸菌の複製開始蛋白質 DnaA の活性化を促す核様体蛋白質との相互作用  
における機能構造解析  
○三善 賢弥, 加生 和寿, 片山 勉  
(九州大・院薬・分子生物)
- 11:45 C12 複製開始因子 DnaA との低親和性相互作用に重要な複製ヘリカーゼ DnaB の  
アミノ酸残基の探索と機能解析  
○鶴田 匠, 林 千尋, 尾崎 省吾, 片山 勉  
(九大院・薬・分子生物)

C会場セッション4 (15:50~16:50)

座長：畠山 智充 (長崎大院工)

- 15:50 C13 シロイヌナズナ水酸化ジャスモン酸スルホトランスフェラーゼの  
X線結晶構造解析  
○和泉健太、寺本岳大、角田佳充  
(九州大・院生資環)
- 16:05 C14 グラム陰性細菌 *Sphingobium yanoikuyae* グルクロノシルセラミド合成酵  
素のX線結晶構造解析  
○山田裕大、大滝志郎、寺本岳大、沖野望、角田佳充  
(九州大・院生資環)
- 16:20 C15 エンカプスリンナノ粒子カプセルを用いた難発現性タンパク質の精製  
○隈元詩織<sup>1</sup>、平大輔<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>崇城大・院工・応用生命、<sup>2</sup>崇城大・生物生命)
- 16:35 C16 *Actinobacillus pleuropneumoniae* 由来 N-glucosyltransferase・アクセプタ  
ー基質複合体の結晶解析  
○佐藤想<sup>1</sup>、神田大輔<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>九州大・医系学府・医科学、<sup>2</sup>九州大・生医研・構造生物)

C会場セッション5 (16:50~17:20)

座長：角田 佳充 (九大院農)

16:50 C17 抗 PD-1 抗体由来の一本鎖抗体の作製とタンパク質工学的改変

○小川瑞葵<sup>1</sup>、亀澤世奈<sup>1</sup>、甲斐勝成<sup>2</sup>、並河真菜<sup>2</sup>、富名腰義基<sup>2</sup>、  
小橋川敬博<sup>1</sup>、佐藤卓史<sup>1</sup>、森岡弘志<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>熊本大・院薬・生命分析化学、<sup>2</sup>熊本大・薬・生命分析化学)

17:05 C18 短鎖(FPGVG)<sub>n</sub>のEDTAを介した多量体化による温度応答性分子の合成

○田中尚輝<sup>1</sup>、巢山慶太郎<sup>2</sup>、友原啓介<sup>2</sup>、前田衣織<sup>3</sup>、野瀬 健<sup>1,2</sup>

(<sup>1</sup>九州大・院理・化学、<sup>2</sup>九州大・基幹教育院、<sup>3</sup>九工大・情報工学研究  
院)